



# ふかや

# 市議会だより

No.29

2013.2.1



## 12月定例会

### 深谷公民館

利根川でサケの稚魚を放流  
(裏表紙参照)

ふっかちゃん基金など 2～4

堆肥センターのあり方を提言 5

市政のここが聞きたい 6～15

議員全員協議会など 16～17

ボランティアさん紹介 18



「唐沢川にサケが  
遡上してきたよ」

発行／深谷市議会 編集／ふかや市議会だより編集委員会 〒366-8501 埼玉県深谷市仲町11番1号 深谷市議会事務局

インターネットによる生中継及び録画中継もご覧いただけます。  
また、市役所本庁舎1階市民ホールでも会議テレビ中継をご覧いただけます。







青少年・高齢者に配慮した使用料の見直し

農村公園の

使用料改正について

問 使用料の減免対象を65歳以上とした根拠は。また昨年10月に改正して、1年で見直したのはなぜか。

答 老人福祉法の各種施策の対象や、老齢年金の給付対象が65歳で、一般的に高齢者とされる年齢が65歳以上であることから決めた。今回の改正は、利用者の声や議会の質問等を聞き、公民館の減免措置もふまえ高齢者健康増進、青少年健全育成化に向けて踏み切った。都市公園の

使用料改正について

問 施設の使用料が、ランニングコストの何%にあたるのか利用者に対して明確にすべきである。今回の改定による減収の見込みは。

答 今回の改定による収入減の見込みは、高校生以下だけでは、144万円程度を見込んでいる。65歳以上については、今まで分けていなかったため不明である。

生涯学習センターの

使用料改正について

問 この施設を団体で利用する場合、65歳以上が一人でもいればこの対象となり、また市内に住所を有する者の人数も、団体の中の何%か決まりは無いのか。

答 団体の2/3の定義、市内・市外の定義について、条例の中では申請主義であり、あくまで申請者の年齢や住所で区分している。

65歳以上の申請者について

問 65歳以上の申請者について、施設の担当課によって取り扱いが違ってしまうが、運用についてどのように連携を図っていくのか。

答 申請者が65歳以上であれば受理する。利用実態が申請とかけ離れていれば、指導していく。その取扱いについては施設の担当部署と連携を図る。減免の取扱いの方法等については、次回の見直しに向けて企画財政部で個々に確認を取りながら調整を図っていく。

市営グラウンドの

使用料改正について

問 高齢者の減額措置について、6月議会後に何か変更があったのか。昨年改定の時、3年を目途に見直すと言っていた。3年待たずに減免したのはなぜか。

答 市民の声、利用者の声、議会での質疑等もあり、意見等検討し、高齢者の方の健康増進、青少年の健全育成等考え、一部使用料の改定をした。

平成23年に、基本方針

問 平成23年に、基本方針を決めてそれぞれ使用料の体制を作った。3年を待たずに減免したが、基本方針に盛り込む必要はないのか。

答 今回の見直しについては適正化の指針に基づいて決めている。今回の一部改定は、施設固有の事情により独自の減免基準を設定するもので、統一的に設定するものではない。全体的な見直しは3年ごとに行うことになっている。

堆肥センター (循環型農業推進事業)

深谷市高品質堆肥製造施設とは、川本地区の畜産農家より搬出される未活用資源である家畜排せつ物の適正な処理・再利用を図り、堆肥を製造するための施設です。

循環型農業推進事業の

補正予算570万円の内訳

問 どうなっているのか。

答 汚泥脱水機が200万円、堆肥の攪拌機が250万円、その他が電気代の値上げ分に充てられている。

問 今後また修繕が必要となることが予想されるが、その度に予算を取って修繕を続けるのか。

答 堆肥施設の在り方については、料金の値上げ、廃止も含めて現在検討中であるが、一般財源の投入はこれ以上増やせない。しかし施設の存続について結論が出るまでは止める訳にはいかない。

最低限の修理

は必要である。

問 攪拌機については耐用年数が過ぎて業者は買い替えを勧めているが4、5千万円掛かるので今回は必要最低限の修繕に留めた。

問 今回の修繕でどのくらいの期間、機械がもつと考えているのか。

答 機械がどのくらいもつのかは全く分からないが、業者には最低でも2、3年は何とかしてくれとお願している。その中で、今年度中に今後の方針について答えを出す。

今後

て行くとするならば、

問 どのような修繕が予想されるか。

答 すべての機械が耐用年数を過ぎており、腐食も激しいため、平成20年より順次対応しているが、今後も修繕や機械交換に、年間数千円掛かることが予想される。

問 ランニングコスト以外に、年間数千円もの市の予算が使われていることについてどう考えているのか。

答 今後も多額の費用を要するため、利用者と会議を行い、話し合いにより方向性を出していきたい。



議会からの提言

循環型農業推進事業から早期撤退すべき

深谷市一般会計補正予算(第2号)に関する提言書

平成24年第4回定例会に上程された平成24年度深谷市一般会計補正予算(第2号)において、循環型農業推進事業として5,700千円の増額補正がなされている。また、今後においても、多額の修繕料の支出が見込まれている。当該施設については、市民産業委員会をはじめ、市議会本会議においても再三問題提起されており、執行部として早急に方向性を出されるよう、下記の項目について提言する。

記

- 一. 市は、同事業から早期撤退すべきである。
一. 市は撤退までの間、同施設の機械等の修繕は必要最小とし新規導入はしない。

12月定例会 議案に対する各議員の賛否

Table with columns for Party Name (会派名), Member Name (議員名), and Decision (審議結果). Rows list various municipal ordinances for review.

深谷市営グラウンド利用料金

Table showing fees for various sports grounds (e.g., 中瀬グラウンド, 岡部中央グラウンド) categorized by area and user type.



川本天神グラウンド



仙元山公園陸上競技場

仙元山公園利用料金

Table showing fees for the 仙元山公園 sports field, categorized by facility name and user type.

赤字部分を条例改正利用料金については市内の農村・都市公園の一部を掲載

議案あれこれ「議会本会議を傍聴してみませんか?」...傍聴を希望される方は市役所3階議会傍聴席までお越しください。次回定例会の日程は最終ページのとおりにします。

ふかや市議会だより(第29号) 平成25年2月1日発行



# 市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

## 質問項目一覧

(通告順)

### ○加藤利江

- ①高品質堆肥製造センターについて
- ②シルバー人材センターについて
- ③景気対策について
- ④柴崎公園について

### ○吉田幸太郎

- ①生活保護の現状と今後の対応
- ②(仮称)寄居P AスマートICについて
- ③「歴史と文化のまちづくり」について
- ④東京成徳大学深谷中学校開校について

### ○清水修

- ①公園の設置について
- ②子ども(幼児)の居場所について
- ③補助金見直し方針について

### ○柴崎重雄

- ①賑わいのまちづくり
- ②振り込め詐欺

### ○馬場茂

- ①産業祭について
- ②消防団について
- ③集会所について

### ○中矢寿子

- ①敬老会の在り方について
- ②大里広域への在り方について
- ③花園水辺公園の活用について

### ○新井清

- ①花園ICまちづくりジャンクション構想について

### ○清水睦

- ①今後の同和対策事業について
- ②基本方針について
- ③農業政策について
- ④無認可保育室について

### ○五間くみ子

- ①DV被害防止施策の強化について

### ○村川徳浩

- ①深谷市の商業の現状と今後について
- ②煉瓦の街づくり条例について
- ③ふっかちゃんについて

### ○倉上由朗

- ①市長の重点施策について
- ②市史の編さんについて

### ○永田勝彦

- ①深谷市瀬山市道危険交差点の解消を求める
- ②深谷市企業誘致の今は
- ③深谷市都市計画事業武川中央土地区画整理事業地内の朽廃家屋

### ○三田部恒明

- ①LED照明の導入について
- ②データ放送で市政情報を

### ○加藤温子

- ①市の声、疑問を問う

### ○田島信吉

- ①市政の運営について

### ○為谷剛

- ①地方都市の駅前や中心市街地の再生

### ○田嶋均

- ①深谷市の活性化について
- ②未収金の回収について

## Q

### 高品質堆肥製造センターについて

## A

#### 利用料金の値上げまたは自己処理施設建設を決める予定

加藤 利江

問 9月の一般質問以降、組合のかたとの話し合いはどのようになっていくのか。

答 利用者会議では、今後この施設に一般財源の投入はしないとの方針から、9名の利用者で利用料金の値上げにより一般財源の負担を減らすか、自己処理施設を建設するか決める予定である。また、利用者が自己処理施設の建設を希望する場合には、2年後をめどにふん尿の受け入れを中止し、廃止に向けた事務を進めていく。

### シルバー人材センターについて

問 登録は誰でも出来るのか。

答 登録は60歳以上で深谷市在住のことであれば登録できる。

問 職種によって時間給は違うのか。

答 主なもの、一般事務が760円、植木剪定が1100円である。

問 シルバーの就労に年齢制限はないのか。

答 シルバーの就労に年齢制限はない。

〈一般質問記事の掲載は、通告順です。〉

## Q

### 生活保護受給者への自立支援対策は?

## A

#### 就労支援員による「就労自立」の指導・援助をしている

よしだこうたろう  
吉田幸太郎

問 深谷市における生活保護受給者の現状は?

答 平成23年度は952世帯で1312人が受給しており、保護費は約20億8000万円となっている。

問 不正受給の現状とその返還金は?

答 平成23年度は27件・1360万円の不正受給があり、内容は勤労収入や年金収入等の無申告である。今までの返還対象件数は152件で、そのうち完済されていない金額は約5817万円である。

問 「就労自立」に向けた支援・指導の現状は?

答 市の就労支援員の指導により25人が就労を開始し、6世帯が自立した。また、昨年度より県の「生活保護受給者チャレンジ支援事業」のサポートを活用し、17人が就労を開始し、2世帯が自立に至った。さらに今年度より「ハローワークと連携した「福祉から就労・支援事業」の運用も開始。

問 専門支援員を増やし、多様化する問題に対応していく考えは?

答 自立支援業務の増加は認識している



問 寄居P AスマートICの進捗は?

答 深谷市の取り付け道路計画は、経済性・安全性等を考慮し、概略ルート案を選定した。来年1月中旬に地元説明会を予定している。

問 道路整備費用・費用対効果は?

答 費用は4〜7億円。効果は利便性向上と周辺地域の安全性の確保である。

## Q

### 東京成徳大学深谷中学が開校するが、市の対応は?

## A

#### 教育委員会が窓口となり関係各課と調整し対応していく

しみず 健一

問 公立中学も私立中学も同じ深谷の生徒だが、市主催の行事への参加を、どう考えているのか。

答 子ども議会など市の行事については関係各課と調整して対応する。

問 生徒達が幼稚園でのボランティアや農業体験を希望した場合の対応は?

答 幼稚園は教育委員会が所管しているため対応可能である。農業体験等の要望には関係各課と調整して対応する。

問 深谷市史編さんに取り組むべきだが一つの自治体に4冊の市町村史が存在し、その整合性にも疑問がある。一例を挙げると、昭和6年に、この地域で起きた大地震の記述が違っている。特に災害に関しては、後世に真実を伝える責務があると思うが考えは?

答 市史発行には長い年月を要するので、編さんに向けて研究していく。

### 歴史まちづくり法の活用は?

問 市南部には花園インターがあり、東部には農林公園、そして中心市街地西部から北部にかけては史跡や重要文化財が点在している。この法律は、治水から道路整備、空家対策、お祭りの保存継承等にも使える有利な補助制度である。活用して市北部を整備すれば、産業振興にもつながり、市全体の活性化につながる。歴史と文化を活かした、特色あるまちづくりを行う上でも活用すべきと考えるが、市の方針は?

答 重要文化財の保存整備と併せて、関係各課と調整・研究していく。



柴崎公園



重要文化財 旧煉瓦製造施設 ホフマン輪窯内部

〈一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。〉



川本地域への公園の設置を

市街化調整区域なので、多方面から研究・検討を進める

清水 修

問 旧深谷市内には、一定の間隔で身近な市民公園が設置されているが、川本地域には身近な公園がない。公園を設置して市民に憩いの場を。

答 川本地域への公園設置は、「緑の基本計画」に位置づけられているが、市街化調整区域であり、具体的な土地利用計画を策定することは種々の困難が予想される。また、公共用地の新規取得は非常に困難なことから、公共用地の未利用地を利用することも一つの方策であると考えている。今後、多方面から研究・検討を進めていく。

雨の日などの子どもの居場所を

問 土・日・祝日における雨の日など、家の中では子ども（幼児）が退屈してしまい、デパートなどで時間を過ごしているのが現状だが、何かとお金も使ってしまう。市の施設を子ども（幼児）の居場所として提供できないか。

答 休日における子どもへの公共施設開放の現状は、子育て支援センターでは、土曜日も育児相談と施設を開放している。また、公民館は全館ではない



深谷市産業祭の実施状況について

昨年に増して盛況で今後も賑わいのまちづくりを進めたい

柴崎 重雄

問 第7回産業祭は旧中山道商店街で開催された。商工業、農畜産物販売、サンパレード、ゆるキャラ、N-1グランプリ、まちコン等で盛況だった。その実施状況は。

答 仮設トイレを13基、駐車場1020台を設置。来場者数約7万5000人（前年比9000人増）で既存店舗の売り上げは調査中。N-1グランプリで第1位が武州煮ほうとう研究会に輝いた。地域の活性化と出会いの場の創出を目指した「深谷deまちコン」は300人余りが参加し、好評であった。

深谷宿屋台村について

問 中心市街地に人の流れを作り、賑わいの場所づくりを目的とした深谷宿屋台村の実施内容は。

答 埼玉りそな銀行の向かい側の市有地に店舗を連ねる形で建設し、一店舗広さ3.6坪、カウンタートと8座席程度敷地内にトイレ、農産物直売所を設置予定。なお、事業実施主体は深谷商工会議所と西島商友会で来年春にオープン予定である。



産業祭

産業祭で農畜産物共進会が実施されなかったがなぜか

農業関係団体の意向等を踏まえ、実施を見送った

馬場 茂

問 農畜産物の共進会が2年続けて実施されなかった。深谷市の農業振興を図るためにも必要な事業だと思いが。

答 市内4農協、深谷市園芸協会、深谷市花き園芸組合連絡協議会などの農業関係団体の意見では、産業祭の時期は農繁期で忙しいため、共進会は実施しなくてもよい、とのことから、産業祭実行委員会において実施の見送りを決定した。

問 市街地の活性化がひとつの目的だと思いが、2年間の具体的な成果は。

答 来場者アンケートの結果、約半数の方が会場周辺の既存店で、気に入った店や商品を見つけたとの意見もあり、また商店街の若手を中心としたグループが組織され、まち中を盛り立てる活動が開始された。

消防団車庫の耐震化対策は

問 築30年以上経過した車庫6カ所が耐震基準不適合とのことだが、今後の対策は。

答 消防救急デジタル無線システム整備以降、古い車庫から順次建て替えを



産業祭 深谷農博覧会

花園水辺公園の活用について

今後の活用について市の構想は？

中矢 寿子

問 花園水辺公園の活用について市の構想は？

答 この公園は、河川占用許可を得て利用しているため、固定した施設や建物などの建築は制限されているので、現在のような多目的広場として、ユニケーションを図る公園として維持していきたい。

敬老会の在り方について

問 毎年「敬老の日」を中心に、各地で開催され、ほぼ30%強の方が参加している。開催規模・日程・主催者・記念品等を見直す考えはないか。現在の形式ですと続けていくのか。

答 今年度の出席率は33.4%で近隣市町と比べ若干平均を上回っている。開催にあたっては、市と関係団体が実施主体となっている。今後も事業内容の見直しなどの必要が生じた場合は、協議・調整していく。平成28年度以降、対象者急増による新たな課題が生じる

介護保険業務は広域に任せず市独自で取り組むべきでは

今後とも広域と連携を図りながら取り組んでいきたい

中矢 寿子

問 介護保険制度導入から約12年。大里広域のように介護保険の事務処理を広域で行っているのは県内で1カ所、全国でもわずかと聞く。介護保険に求められるきめ細やかなサービスを考えると市独自で取り組むべきと思うがどうか。

答 広域で取り組むことで、事務の効率化、財政基盤の安定化、要介護認定の地域間格差が解消される。今後、広域と連携を図りながら取り組みたい。

問 花園水辺公園の活用について

答 今後の活用について市の構想は？

この公園は、河川占用許可を得て利用しているため、固定した施設や建物などの建築は制限されているので、現在のような多目的広場として、ユニケーションを図る公園として維持していきたい。



花園水辺公園



花園ICまちづくりジャンクション構想について

今後も今まで以上、実現に向けて努力する

新井 清

この構想は地元で説明会を開いたか。

地元説明会は開催していない。また、構想が計画段階のため、現段階での説明会は予定していない。

花園IC拠点スケジュールは。

まちづくりを実現するため、平成23年度はこれをプロジェクト化し、拠点に誘導する機能やこれによって生じると予測される交通量の増加、周辺環境への対応方法など、基本的な計画の検討を行った。資料にある想定スケジュールについては、構想に基づいた概略的な流れを示したもので、今後の経済情勢などにより流動的である。

この構想については地元の期待も大変大きいので、市は努力し、構想の実現はできないか。

この構想は本市のみならず、県北地域、秩父地域など広範囲にわたる活性化方策として極めて重要なプロジェクトであると考えており、関係する市町村や県関係課と連携を深めていく。構想をより一層推進するため、本年度は公共ゾーン内の土地利用計画や交通



花園IC付近

処理のための詳細検討など、拠点配置のために必要な関係機関との協議に向けた準備をしている。このような大規模プロジェクトの実現は、他市町村の事例を見てもわかるとおり非常に困難であるが、市の活性化には重要なプロジェクトであり、実現に向け引き続き努力していく。

深谷市独自で農家に対し価格保障・所得補償を行えないか

市独自で実施することはできない

清水 睦

減り続ける農業後継者、安定しない農産物価格の今、価格保障・所得補償は急務の課題となっている。現在も個別価格保障が行われているが、減反分の保証でしかない。そこで深谷市独自で価格保障・所得補償を行うべきではないか。

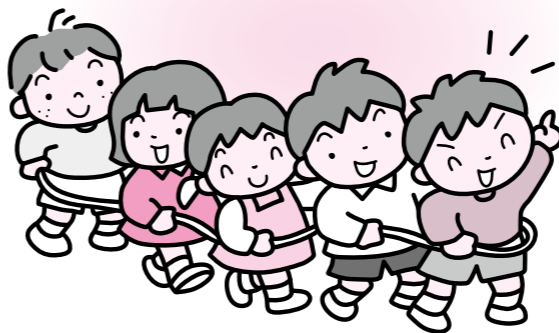
すべての農産物を対象とすることは予算確保が困難であり、市独自で実施することができない。

無認可保育室の保育料の補助を

認可保育園の保育料は保護者の所得(税)によって決められているが、無認可保育室、いわゆる家庭保育室の保育料はどんなに所得が低くても一律に負担しなければならぬ。そこで無認可保育室の保護者に対し、所得(税)によって補助を行えないか。

家庭保育室に入所する児童保護者への保育料補助の拡充は、待機児童対策の一環として、検討する。

今後の同和対策事業について基本方針について 事業の見直しの進捗状況と今後の



買い物客の市外流失を深谷市はどう考えているのか

大きな問題と捉え対策を研究していく

村川 徳浩

9月議会で河村副市長は、平成22年の埼玉県の消費者動向調査によると、深谷市民の市内での消費が激減し、深谷市民は群馬県の大型ショッピングセンター等へ買い物に行っているという内容の発言があったが、これは深谷市の執行部の共通認識と考えていいのか。

そう考えている。消費者動向調査によると群馬県への流失人口は約1万6千人である。

市内にもアウトレットモール等の大規模商業施設があったらいいなという消費者ニーズがあるが。

深谷市は農業を盛んにする地域という指定を受けており、農地をつぶして大きな商業施設を作るのは難しいが、そういった話があった場合は商工会議所等と話しあい検討していく。

消費税の地方税化が取りざたされるなか、財源確保という意味でも市内での消費を増やすことは重要課題では。集客力のある施設の設置は有効な手段であるので花園インター付近のプロジェクトを積極的に進めている。また中心市街地の商店が魅力あるものと



ふっかちゃん

なるよう、商工会議所と連携していく。

ふっかちゃんの活用の効率化

ふっかちゃんの着ぐるみがあるが、か借りられないとの市民の声があるが。

もう一体製作する予定であり、貸出しの効率化も検討中である。

人気上昇し業務増のなか、ふっかちゃんだけを扱うふっ課をつくっては、広く市内外へ向けたPRに活かす様々な施策を推進するための活用方法と組織編制について検討していく。

DV被害者支援の更なる強化を

適切な対応と支援ができるよう努めていく

五間くみ子

配偶者からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害である。DV防止法が平成13年に施行され、そのうした意識は深まりつつあるようだが、DV被害者に対する相談窓口の周知は不十分ではないか。

DV相談窓口が設置されていることを表現方法も工夫し周知に努めたい。

配偶者暴力相談支援センターを設置し、支援の体制を強化する考えは。

同センターは、専門的知識や新たな人員配置等も必要であり、今後も先進地等研究していきたい。

先進地では、一時保護施設の設置や宿泊費補助等をしている。DV被害者保護のための市独自の支援策も必要と思うが市の見解は。

DV被害者の緊急時の安全確保や一時保護については、加害者から隔離保護し追及の危険回避のため、遠隔地の一時保護施設に避難しており市内に設置の計画はしていない。宿泊費補助は県内18市で実施しており、近隣市、先進地の取り組みを研究していきたい。平成16年の児童虐待防止法の改正



DV相談ナビ

「議会あれこれ」議員も熱が入ります!...12月議会の一般質問は3日間。延べ76人の方が傍聴にいらつしやいました。



市長の重点施策である企業誘致は進んでいるのか

企業誘致は大変困難な状況だが、事業化に向け努力する

倉上 由朗

川本地域の国道140号バイパス周辺への工業団地を造成する件に関して現在の進捗状況は。

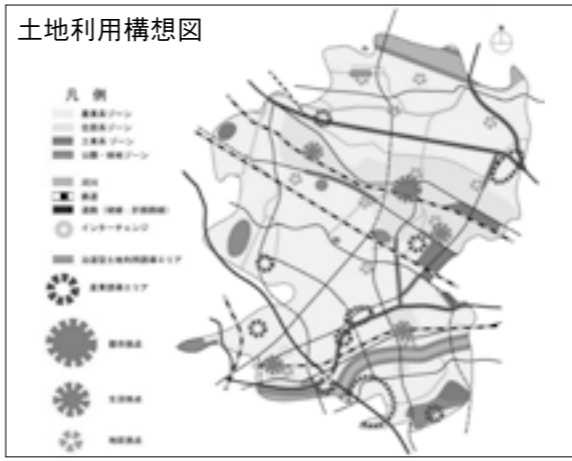
平成22年度に県企業局による「概略可能性調査」が実施され、地権者等を対象に、説明会を開催すると共に、埋蔵文化財の試掘調査等を行った。

平成24年度予算の中で、地区計画策定業務委託が計上されているが、その進捗状況は。

県企業局による詳細可能性調査が当該地区では実施されておらず、地区計画の協議に入ることができないため未執行となっている。また、当該地区のような20ヘクタール規模の農地の除外・転用は全国的にも非常に困難で、その目的が立たないことが、計画が進まない原因である。

総合振興計画の土地利用構想図の中で、合併後、産業誘導エリアにどのくらいの企業を誘致できたのか。

10カ所ある産業誘導エリアに誘致した企業は1件であり、投資固定資産の総額は約28億円である。



市史の編さんに早く取り組みべきである。旧市町の時代も包括した深谷市全体の市史を編さんする必要がある。市史の編さんについてどのような考えがあるのか。

市史の編さんには相応の時間と経費が掛かることから、それに見合った組織作りが必要となり、長期的な展望に立って研究していく必要がある。

深谷市瀬山市道危険交差点の解消を求める

交通安全対策を進めていく

永田 勝彦

瀬山地区には約80カ所の交差点があるが、道路標識は7カ所である。標識未設置の交差点で交通事故が頻々と発生。市民の安全確保を求め早期設置を考慮されたい。

埼玉県公安委員会の所掌である。埼玉県への働きかけ要望に沿うべく、交通安全対策を進めていく。

深谷市企業誘致の今は

深谷市は雇用拡大の重要性、税収等の確保にかんがみ、企業誘致を命題として有為な河村氏を国交省から副市長として招聘起用した。就任以来、はた目には大変な努力を承知している。企業誘致等の内実を定期に「報告会」を求む。

「報告会」設置については、誘致先企業の内情等もある。企業誘致につき大きな進展進捗等があれば、随時速やかに報告する。引き続き努力していく。

区画整理内の朽廃家屋の存在は不安

武川中央土地区画整理事業内の無



瀬山地区

リース方式によるLED照明の導入を推進すべきである

各公共施設等での試算を早期に実施していく

三田部 恒明

省エネ対策として公共施設へのLED照明の導入は、電気料金値上げによる財政負担の軽減につながり、導入後の電力消費量も抑えられる。しかし、器具が高価であることで予算確保が難しい。そこで、民間資金活用によるリース方式を検討すべきである。

省エネルギー型照明器具の導入については、環境基本計画および地球温暖化対策実行計画においても基本施策であり、今後研究し、導入可能な施設から実施に向け検討する。

ESCOサービス企業側からの提案もある。削減された電気代をリース料に回し、既決算の範囲内で導入が可能。電気料金の体系の変化（値上がり）のため収支が赤字になってもESCO主体は構わない。契約終了後は無償譲渡で撤去しない等々の利点がある。従って、早期に電気代削減効果を算定する調査を行い、リース経費を電気代削減額で賄えるとの試算結果ができれば順次進めていただきたい。

LEDの寿命は16年で蛍光管の4.8年より長い。LED照明器具の性能も

※ESCO事業のしくみ
ESCO (ENERGY SERVICE COMPANY)の略称
ESCO事業では、事業者が、省エネルギー改修に係る設計・施工・改修費用の調達・計測検証・運転指導・維持管理を一括して行い、その結果得られる省エネルギー効果を検証するとともに、省エネルギー改修に要した投資・経費等は、全て省エネルギーによる一定期間の経費削減分で償還される。

改良が重ねられ、照度も遜色がない。CO2排出削減効果もあり、エネルギー削減効果もある観点から、早期にリース方式の試算を試みる。

データ放送で市政情報の配信開始を

地上デジタル放送のデータ放送を活用し、市政情報の配信サービスを開始する。新たな情報提供の媒体として有効であり、今後、活用については速やかに実施に向け、検討していく。

進捗状況にあわせて、情報提供する

オーキッドファームの未納金 市民への説明は

加藤 温子

オーキッドファームの経緯と今後。調停の申し立てに対し、9月25日議会で議決。9月27日調停成立。9月28日までに未納金支払いを約束。11月30日退去日だが納入なし。12月4日督促する。12日現在、納入確認できず。

最終的未納金額は。総計で1億3400万円となる。

3月31日契約解除、ラン苗鉢の在庫を押し寄せしなかった理由は。管理に多大な経費がかかるため、退去を優先した。

今後の施設活用は。売却もあるか。今後は、強制執行に向けた手続きに入りたい。

市民の声、疑問を問う

上柴公民館駐車場利用に格差あり。旧教育センター駐車場を市民に開放は。企業・団体には有償。小中学校・子ども会・自治会等の利用は、適切な管理を条件に無償で貸し出す。

東都医療大学誘致の波及効果は。開校4年。生徒、教職員数461名。市内アパート居住112名。誘致



オーキッドファーム

の結果、地域社会への経済的影響はある。市民大学の参加、市民公開講座の開催、施設開放等で支援。防災協定締結予定。

10月広告、3地区宅地公売状況は。国済寺7区画中2、岡中央7区画中2、小前田駅北3区画中3と5区画売却。未売却は購入申し込み受付中。

広域的観光の取り組みと県参入は。熊谷市と協力立ち上げた。県の観光づくりに協力、連携を図り参加する。



Q

人口減少抑止策を構築すべきでは

A

後期基本計画を積極的に推進して抑止につなげる

田島 信吉

問 新年度から今後5年間に実施すべき市の施策の基本方針や施策展開の方向を定めた後期基本計画の下で市政が運営される。行政の根幹である深谷市の人口は、平成22年の国勢調査では前回調査に比べ1982人減少、率で1.3%減少した。この主な要因は転入者が転入者を上回ったことによる。熊谷・本庄市に比べ減少率が高く、昼間人口が少ない。市内に就業や就学の場合が少ないと言え、地域的には旧深谷市で約2800人減少し、旧3町で増加した。また、人口構成も子供を含む65歳未満が約6500人減少し、65歳以上で約4500人増加した。就学者も減少したと考える。こうした変化が市内の経済や、市政に影響していると思うが。

答 後期基本計画では、人口が減少することを重く捉え、計画全体を通して魅力あるまちづくりの推進に重点を置いた。計画を総合的、積極的に進め減少を抑制し、人口増につながるよう取り組みを実施したいと考えている。

問 市は、税や使用料等の未収金に対し、どう対応しているか

答 本市の特徴は、自主財源としての市税が低い水準にあり、国・県からの交付金、補助金への依存が大きい。人口減少は課税対象人口が減り歳入が減少することで歳出を減少せざるを得ず、市民サービスの低下が懸念されるなど影響が大きいと認識している。

問 市とオーキッドファームとの調停成立後の進捗状況と今後の課題は。

答 調停成立後、その内容に沿って11月30日に土地と建物の明け渡しを受けたが、未納金の支払いはされていないため、今後、強制執行を行うべく現在顧問弁護士と調整中である。

問 市はこの事業から何を教訓として学んだか。

答 連帯保証人を付けていなかったことや、法人の経営内容に対する精査が足りなかったことが考えられるため、今後の再貸出ではこれらを教訓として同じことが無いように努める。

問 市民税91%と国保税65%の収納率の差異をどう考えているか。負担の公平性から問題はないか。

答 未納に対する取り組みは、国民健康保険税と他の市税と一体的に実施している。税負担の公平、公正を期するため、今後も滞納対策を一層強化して自主財源の確保に努めていく。

問 未収金に対する市の考えと現状は。税の未収に関しては、埼玉県でも重要視して力を入れて取り組んでおり、

答 未収金に対する市の考えと現状は、税の未収に関しては、埼玉県でも重要視して力を入れて取り組んでおり、



問 まちづくりの観点から、集うという視点で、例えば市が駅前の閉店した百貨店跡地を買い取って地元の方に駅前キャンパスを造る。またなかに若者のコミュニケーションの場として、公共交通で訪れることを訴えかける。車を利用する人々を鉄道や自転車などを利用する方向に転換させることが重要であると考えている。

答 現在、大学側からの要望はない状況である。要望がないことから検討は行っていない。

問 新規店舗を呼び込む。そのために市が固定資産税を減免し、県がその一部を補てんする。中心市街地の空洞化により、人が住み、暮らし、活動する場としての機能が失われ、人々のつながり、コミュニケーションそのものが無くなってしまふ恐れがある。例えば七夕まつりや八坂まつりといった深谷市の伝統行事があるが、魅力ある地域固有の伝統や文化が失われることにもなる。

答 一つの方策と考えるが、まずは既

Q

地方都市の駅前や中心市街地の再生

A

今後の中心市街地活性化の観点から大変重要と考える

為谷 剛

問 まちづくりの観点から、集うという視点で、例えば市が駅前の閉店した百貨店跡地を買い取って地元の方に駅前キャンパスを造る。またなかに若者のコミュニケーションの場として、公共交通で訪れることを訴えかける。車を利用する人々を鉄道や自転車などを利用する方向に転換させることが重要であると考えている。

答 次回の見直しにあたり参考とする。存の各店舗の魅力を高める施策を研究していく。

問 地元企業と連携してバス並みの低料金で戸口から戸口までのサービスが提供できるデマンド型乗合タクシー。車がないため、街に出て来られないお年寄りなどには、大変便利なシステムである。

答 次回の見直しにあたり参考とする。



百貨店跡地

Q

市は、税や使用料等の未収金に対し、どう対応しているか

A

法令に従い、粛々と対処していく

田嶋 均

本市においても埼玉県同様に未収金を減らすよう努めている。

問 市とオーキッドファームとの調停成立後の進捗状況と今後の課題は。

答 調停成立後、その内容に沿って11月30日に土地と建物の明け渡しを受けたが、未納金の支払いはされていないため、今後、強制執行を行うべく現在顧問弁護士と調整中である。

問 市はこの事業から何を教訓として学んだか。

答 連帯保証人を付けていなかったことや、法人の経営内容に対する精査が足りなかったことが考えられるため、今後の再貸出ではこれらを教訓として同じことが無いように努める。

問 市民税91%と国保税65%の収納率の差異をどう考えているか。負担の公平性から問題はないか。

答 未納に対する取り組みは、国民健康保険税と他の市税と一体的に実施している。税負担の公平、公正を期するため、今後も滞納対策を一層強化して自主財源の確保に努めていく。

問 未収金に対する市の考えと現状は。税の未収に関しては、埼玉県でも重要視して力を入れて取り組んでおり、

答 未収金に対する市の考えと現状は、税の未収に関しては、埼玉県でも重要視して力を入れて取り組んでおり、



オーキッドファーム

行政視察

福祉文教委員会 10月2日～4日
北海道網走市 学校支援地域本部学校地域支援コーディネーター
北海道北見市 子ども総合支援センター
北海道釧路市 生活保護自立支援プログラム
委員: 吉田幸太郎, 五間くみ子, 清水睦, 加藤利江, 石川克正, 松本政義

総務委員会 10月15日～17日
三重県名張市 ゆめづくり地域予算制度等
三重県伊勢市 ふるさと未来づくり等
三重県志摩市 地域ブランド認定事業
三重県津市 創発型シティープロモーション
委員: 三田部恒明, 清水修, 高田博之, 仲田稔, 新井清, 須藤邦男

環境都市委員会 10月24日～26日
沖縄県宮古島市 再生可能エネルギー事業
沖縄県南城市 グリーンエコリサイクルセンター(エコチップ)事業
沖縄県那覇市 エコマール那覇プラザ
委員: 中矢寿子, 為谷剛, 武井伸一, 小森秀夫, 倉上由朗, 田嶋信吉

市民産業委員会 10月15日～17日
福岡県北九州市 花のまちづくり大会開催状況
福岡県苅田町 農業振興基本計画
広島県廿日市市 中心市街地活性化、企業誘致
委員: 田嶋均, 村川徳浩, 加藤温子, 柴崎重雄, 馬場茂, 清水健一, 永田勝彦

ふかや市議会たよりは、点字版とテープ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会(TEL573-0505)へご連絡ください。

一般質問記事の掲載は、通告順です。



# 議員全員協議会

議決案件ではないが、行政運営上重要な件に対して議長が招集し市側が報告する会議。12月議会終了後に開催された会議の内容を掲載します。

## 総合振興計画 後期基本計画の策定

総合振興計画は市の個別計画すべての上位計画に位置づけされており、「基本構想」及び「基本計画」で構成されている。基本構想の計画期間は平成20年度～29年度を目標年度とする10年間。基本計画は基本構想で定めた将来都市像を具現化するためのもので、前期5年と後期5年に分かれている。



総合振興計画



支え合いマップの例

## 高齢者等の孤立死を防ぐ 2つの取り組み

●地域における日常的な支え合いづくり、災害時の速やかな避難支援に役立てる。  
①「見守りネットワーク」地域住民やライフライン等事業者による緩やかな見守りネットワーク  
②「地域支え合いマップ」災害時要援護者のデータをもとに「どの人が誰を見守っているのか」「見守りに漏れていないか」の点検と支え合いの仕組みづくり

## なぜ48億円!?

「どうしてこれほど高額に?」都市計画道路原郷上野台線の立体交差設計報告

上柴地区から国済寺土地区画整理地区を結ぶ高崎線の立体交差工事。日照権や騒音問題等地元からの要望により立体交差の構造をオーバーパスからアンダーパスに都市計画変更を行った。高架橋工事から地下式に変更になった経緯は承知している。また、高架にした場合約15億円に対し地下式に変更した時点で約28億円の概算だという報告も受けている。今回、設計報告で48億円と算出された訳だが、なぜ高額に?  
答 概略設計では約28億円だったが、実際の詳細設計を行った結果、上柴側の工事スペース制限と地質のボーリング調査で大きな玉石があることが分かり、工事工法が変更となったことがその理由である。  
問 もし工事を始めた場合、工期はどれほどになるのか?  
答 設計上では8年である。なぜそれほどの工期が必要なのか?  
答 線路の下を工事することになる。電車が通らない時間帯に限られることから長い工期になってしまう。



事業化のメドは立っていない

## その他の報告

○市立保育園民営化の進捗について  
○大里広域市町村圏組合が実施する「こみ処理施設長寿命化工事」について  
○災害用3トン級重機及び搬送車の国からの貸与について  
○公共施設の電力切り替えについて  
○深谷市指定文化財「花園中学校裏サギの生息地」指定解除と自校式給食場建設計画の変更について

## 第4次 議会改革委員会を設置

平成21年から始まった「深谷市議会議会改革」は、今年も議長の諮問により再開することになりました。

12月5日に開催された議員会議において全会一致で決定し、同日、正副委員長の互選が行われました。

- 第4次議会改革委員会  
委員長 高田博之  
副委員長 清水健一

## 本庁舎、どうする?

深谷市公共施設の在り方に関する事前協議会が始動。平成25年3月まで4回の協議会が持たれることになりました。

## 設置目的

深谷市議会と市執行部において、公共施設の在り方に関する基本方針を協議する場として、事前協議会を設置。

## 協議事項

- (1)公共施設の適正配置

- 本庁舎の耐震性能が著しく不足していること、大地震時の災害拠点としての機能が不足していることなどの理由から、本庁舎の建て替え等について検討することとなった。また、旧埼玉県総合教育センターの活用についても方向性を出していくこととしている。
- 日程  
第1回 平成24年11月26日  
第2回 平成24年12月12日  
第3回 平成25年1月16日  
第4回 平成25年2月13日

## 12月定例会 請願に対する各議員の賛否

請願	議員名																審議結果											
	会派名(※)	無所属	彩新	共産	志民	深ク	公明党	和会	深	和	会	新井	松本	須藤	中矢	五間		三田	武井	高田	加藤	清水	清水	田島	田嶋	村川	石川	
危険な米軍輸送機オスプレイの配備と低空飛行訓練の中止を求める意見書提出の請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	採択
「原発ゼロ」をただちに求める意見書提出への請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

※会派名は、深クは深谷クラブ、志民は深谷志民の会、共産は日本共産党、彩新は彩新連合、無は無所属です。  
※議長は同数のみ採決に参加します(○は賛成、×は反対)

## 請願の審査結果

### 請願第15号 (採択)

「原発ゼロ」をただちに求める意見書提出への請願  
一、日本政府がすべての原発からただちに撤退する決断を行うことを求めます。

深谷市上柴町西6・22・1  
日本共産党深谷市委員会  
代表 中島 保

### 反対

「即時」には反対する。委員会の議論で「即時」にした場合、日本の産業に対する影響について議論されていない。現実を直視した真面目な議論をするべき。大きな約束を政治家がする罪深さも考えてほしい。

### 反対

新エネルギー供給が確立していない現在の状況では難しい問題である。一日も早く原発ゼロの社会を築くことは大賛成だが即時ゼロの文書を深谷市議会の意見として提出することに反対する。

## さまざまな意見が出されました 「原発ゼロ」をただちに求める

### 賛成

脱原発についてはそこへ行くが、その方向性においてすべてが正しい。市民は原発に頼らないエネルギー政策を望んでいる。市民の声を代弁し国に伝えていくのが議員の責務である。

### 賛成

原発推進者は、原発をなくすと経済が衰退すると言っているが、日本の再生可能エネルギーは、原発の40倍、雇用効果は13倍あると言われている。原発ゼロの決断こそ、国民の命を守る確かな道である。

### 反対

様々な意見が出されているが、賛成にしても反対にしても方向性としては皆同じだと思う。しっかり議論したうえで、文言を見直すべきであり、継続審議を望む。

### 賛成

原発事故で被災された方の現状を知ると、同じ国民として悲しいことである。原発中止により産業界も国民も負担が増すが、人道にもとれば請願のとおりである。微細な表現にとらわれず採決すべきだ。

### 反対

「ただちに」原発ゼロにする意見書であつて、提出する側の解釈でなく、提出先の国や、市民が「即時」をどう受け止めるかである。「即刻ゼロ」に賛成する議員はこれからもその立場を曖昧にできない。

## 閉会中、主な議会の動き

- 11月  
7日 市政功労者表彰式  
14日～16日 会派視察(志民の会、深谷クラブ)  
14日 秩父市より視察受け入れ(市議会だより編集委員会)  
20日 第三区議長会議員研修

## 人事案件

●人権擁護委員に  
佐久間 愛子氏  
佐久間 愛子氏の任期が平成25年3月31日に満了となるため、引き続き同氏を推薦することに異議ない旨回答しました。

- 10月  
2日～4日 福祉文教委員会視察  
15日～17日 市民産業委員会視察  
15日～17日 総務委員会視察  
23日 戦没者追悼式  
24日～26日 環境都市委員会視察  
30日～11月1日 議会運営委員会視察

「議会あれこれ」討論ってなあに?」...議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。





### 3月定例会の日程のお知らせ

3月1日 ▶ 3月25日

平成25年3月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

3月 1日(金)	開会・議案説明
4日(月)	議案説明
6日(水)	議案質疑
7日(木)	〃
8日(金)	総務委員会
11日(月)	市民産業委員会
12日(火)	福祉文教委員会
13日(水)	環境都市委員会
18日(月)	一般質問
19日(火)	〃
21日(木)	〃
25日(月)	討論・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。詳しい内容は議会事務局(市役所3階)までお問い合わせください。  
TEL 048(574)6662  
FAX 048(574)6673

## 議会インター ネット配信

議会中の  
生中継・録画配信

## 編集委員会

委員長	石川 克正
副委員長	五間 くみ子
委員	加藤 温子
清水 修	高水 博之
田嶋 均	為谷 剛
中谷 矢	三田 恒明
村部 浩	三田 恒明

# ボランティアさん紹介

ここでは市内で活動されているボランティアさんを紹介しています。

## 「花園福祉ボランティアすばるの会」 のみなさん



### 花園福祉ボランティアすばるの会

会長 町田秀治



活動が続き、必要がありました。

花園福祉ボランティアすばるの会は現在、会員18名、5班編成で活動しております。月例会で月の出役を定めて、学童保育のボランティアとして、継続は力なりをモットーに学童の子どもたちと仲良しの関係を作り上げて、満8年を迎えました。少子化時代となり、高齢者のいる家族構成が少なくなってきた現在、子どもたちが年寄りの雰囲気を感じる機会が少ないため、すり寄って信頼の情をかけてくる純粋な眼に癒されて会員自身が精気をもらっています。そこに地味なボランティア活動が続いてきた要因がありました。



【表紙の写真】サケの利根川へ放流事業を始め11年目の深谷公民館です。今年も唐沢川でサケが初めて確認されました。表紙の写真は昨年の放流の様子と遡上・産卵後に川岸へ打ち上げられたサケを魚拓にしているところです。今年も2月23日に放流を予定しています。現在、公民館ではふ化した稚魚を観察できます。

## 編集後記

議会の使命は、その第一は市の具体的な政策を最終的に決定すること。すなわち、市の意思決定を行う。その第二は、議会が決定した政策を中心に執行機関の行財政運営が、すべて適法・適正・公平・効率的、民主的になされているかどうかを批判し監視することです。

そのような使命を果たすべく、議会だよりの編集に努める所存です。

清水 修

